



国際会長 (IP) Jacob Kristensen (デンマーク)

“TRUST IN THE RIVER OF LIFE”

「命の川を信じよう」

会長 古賀 健一郎  
副会長 金子 功  
書記 金子 功  
会計 大高 治  
直前会長 古田 和彦

アジア太平洋地域会長 (AP) David Lua (シンガポール)

“Make a difference” 「変化をもたらそう」

監事 松島 美一  
ブリテン 伊藤 誠彦  
担当主事 奥菌 一紀

東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

「変化を楽しもう」

“Let's enjoy 'Changes' ”

湘南・沖縄部部长 (DG) 古田 和彦 (横浜)

「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共にYMCAに仕えよう」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「クラブ創立90周年の恵みの中、YMCAと共に未来を開く」

“Blessing of club 90<sup>th</sup> anniversary, open the future with YMCA”

### <今月の聖句>

金子 功

あなたの重荷を主にゆだねよ 主はあなたを支えてく  
ださる。主は従うものを支え とこしえに動揺しないよ  
うに計らってください。

(詩編 55:23)

### 今月のひとこと

#### 『コロナ禍での希望』

押川 幸男

今年の4月・5月は、新型コロナウイルス感染防止のため、こども園も登園自粛が続きました。コロナ禍の中で家庭の状況も変わり、保護者のストレス等により、そのしわ寄せが弱い立場の子どもに向かい、いわゆる児童虐待のケースが増大しているとの報告がありました。

ただ、確認されたものは氷山の一角で、実際は報告事例の数十倍あるのではないかと、との見解もあります。

地域の要保護児童対策協議会委員としての関わりから気づかされることは、コロナ禍という不安な社会の中で大人同様、子どもも同じように不安を抱いて生きていることに私を含めた大人が本気で気づいていく必要があると思います。

国連児童基金イノチェンティ研究所が発表した先進・新

興国38カ国に住む子ども(5歳から19歳まで)の幸福度を調査した報告書によれば、日本は、身体的健康度は1位で、学力や社会的スキルは27位で、精神的幸福度が37位で、総合20位。「精神的幸福度」は、「自己肯定感」と深く関わっています。

確かに日本の子どもの「自己肯定感」が低いことは、日本社会の閉塞感と連動しているように思います。コロナ禍において、今私たちにできることは、何なのか。子どもたちのより良い環境を社会制度として要求していくことも大切です。

それと同時に私たちの身近な営みの中で、例えば、教会の礼拝や幼稚園・保育園・こども園での礼拝を通して、子どもたちに「あなたは、子どもそのまま神さまから愛されています」とのメッセージを絶えず手渡していくこと。そのためにも、子ども礼拝は聖書のみ言葉を単に教えたり解説したりするのではなく、子どもにとって礼拝は神さまとの出会いの場であることを再確認したい、と思います。

子どもは秩序のある生活によって安心感を持ちます。聖書物語を子どもたちと一緒に思い巡らす時、不思議とおそれを共有し、沈黙という大切な時を経て心を深く耕し、

#### <2020年9月例会実績 Zoom 併用開催>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 6名 メネット 1名 コメント 0名 ビジター 15名 ゲスト 1名 合計 23名	67 % (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

## <10月の行事予定>

EMC/E YES

日	曜	時間	行事内容	場所
3	土	13:00	次期部長選考委員会	湘南とつかY
3	土	15:00	湘南・沖縄部部大会	湘南とつかY
8	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央 Y+Zoom
22	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
24	土		次期部長選考委員会	
29	木	13:00	部エクステンション委員会	中央 Y

「わたしはわたしで生きていいんだ」との「自己肯定感」を育み、「神さまが共にいてくださる」という驚きと希望を胸に抱いて、歩むことができるのではないのでしょうか。

## 「9月第一例会報告」

伊藤 誠彦

日時 : 9月10日(木) 18:30~20:15

場所 : 中央 Y606 号室 (Zoom 併用)

出席者 : 伊藤・メ、大高、奥園、古賀、古田

ゲスト : 笠松潤子(紅葉坂教会員)

ビジター : 伊藤(東京多摩)、千葉(鎌倉)、浦出、加藤、吉原メ、若木(以上、横浜とつか)、辻(横浜つづき)

Zoom 出席者: 齋藤

ビジター: 山下(十勝)、高田(千葉)、衣笠(埼玉)、佐藤(東京)、小倉(甲府)、小原(たんぼぼ)、日下部(厚木)、白井(大阪長野)

古田ワイズの司会で定刻に開始。古賀会長による開会点鐘と挨拶のあと、ワイズソングは割愛し、ワイズの信条の唱和、聖句の朗読と解説の後、ゲスト・ビジターの紹介に入った。多くのゲスト・ビジターに参加いただいた一方、横浜クラブの出席者が少ない傾向が続いているのが残念である。

今例会のメインイベントは横浜とつかクラブの加藤利榮ワイズの「ワイズとワタシ」と題する卓話。

加藤さんはワイズ歴 60 年以上のワイズ界のレジェンド、そのワイズライフは 1959 年 4 月の横浜クラブ入会に始まる。また、誕生日は今年 90 周年を迎える横浜クラブと同じ 1930 年。

卓話は長いワイズライフの中で出会いができた人達の思い出話を中心に進められた。その一部を紹介すれば次の通り。

加藤さんが横浜クラブに入会された時の会員数は 20 数名、現在もお元気で活躍されているのは萩原義昭さん(現、大阪高槻クラブ)。

年長者の名物ワイズとの交流としては、木下百(もも)太郎さん、鈴木謙介さん、奈良信さん・・・

木下百太郎さんは横浜クラブと DBC 関係にある大阪長野

クラブのチャーターメンバーで大阪万博(1970)の年、講演依頼を受けて以来、交遊が続いていた。

鈴木謙介さんはアジア初の国際会長に就任した人で、1975 年アジアで初の国際大会を熱海で主宰された。また、長期にわたって日本区の名誉理事を務められた。

奈良信さんは日本にワイズを伝えた奈良傳さんのご子息であり、1974 年に直前理事として日本区定款を起草された。

海外のワイズも紹介された。テッド・グライナー夫妻は横浜 YMCA とサンディエゴ YMCA との友好関係から、1 カ月間加藤さん宅にホームステイされ、夫同士、妻同士が奇しくも同い年というご縁で今でも交流が続いている。加藤さんが BF 代表(1979)で明子メネットとともに米国とカナダを訪問された時にはロスアンジェルス空港まで出迎えてくれた。

シンガポールのヘンリーシュウさんとの交流も記憶に新しい。シンガポールのベータチャプタークラブ(横浜クラブ IBC)の 50 周年記念式典にマゴメットに加えて高田夫妻、伊藤夫妻とともに訪問した時には大歓迎を受けた。

台湾のリン(林)さんとも交流が続いている。リンさんは台湾台中でのアジア大会(第 19 回、2001 年)に備えて、十勝大会(第 18 回、1999 年)を視察に来られた。

この他、藤沢 YMCA の要請で、聴覚障がい者 27 人の青少年国際キャンプ参加の引率責任者としてマレーシアに行ったとき、ヒルトンホテルのチェックアウト時、予定の集合時間に集まらず鍵をかけたまま熟睡しているメンバーの部屋の扉の鍵を壊してしまった話や、1980 年代後半、菅沼義久ワイズ(1981~2010 横浜クラブ)と頻りに沖縄を訪問したこと、その中での沖縄の泡盛の老舗酒造会社、「瑞泉」の佐久本社長との交流など、加藤さんの話は多岐にわたった。

加藤さんの卓話が終わった時点の出席者の反応は、90 歳というご高齢にもかかわらず、メモにもあまり目を通されることなく、よく次々と人の名前がフルネームで出てくるものだと、感心することしきりでした。

卓話の後はビジネスの話。閉会間際にビジターとして 8 月例会に続いて出席いただいた伊藤幾夫会員増強主任からゲストの笠松潤子氏の紹介があり、これは 8 月例会時に紹介があったアニバーサリー・プレゼント・プランの一環であるとの説明があった。横浜クラブに何か感じていただけたかどうか・・・例会は定刻に閉会し、その後、軽く懇親会へ。加藤さ



さん、辻さん、伊藤(幾)さん、笠松さんも参加いただいた。本日のロバ献金は 4,000 円。

## 部長公式訪問報告

(金沢八景・鎌倉・横浜つるみ各クラブ)

古田 和彦

8月21日(金)18:00~19:30、金沢八景YMCAで開かれた金沢八景クラブ8月例会に公式訪問しました。同行者は伊藤誠彦部書記でした。

出席者は金沢八景の8人とビジター2名の計10名でした。司会は谷口ワイズ。黒川会長の開会点鐘、聖書朗読と祈祷を宮崎亮ワイズ(館長)、会長挨拶、ビジター紹介のあと、湘南・沖縄部長として今年度の方針、行事計画の概要などについて挨拶を行いました。

続いて、谷口ワイズを議長として総会が行われ、第1号議案2019-2020年度事業報告(峯尾直前会長)、第2号議案2019-2020年度決算及び監査報告(有森直前会計)、第3号議案2020-2021年度事業計画(黒川会長)、第4号議案2020-2021年度予算案(岩室会計)がいずれも承認可決されました。

報告・連絡事項として、9/1開催のY-Y's協議会の担当クラブであること、そのための準備について相談しました。19:30、黒川会長の点鐘により閉会しました。クラブ全体の取り組みについての打ち合わせや、部行事へのかかわりについての話し合いが丁寧に行われていました。

9月8日(火)18:30~20:15、鎌倉YMCAでの鎌倉クラブ9月例会に伊藤書記と公式訪問しました。出席者は鎌倉クラブ6名とわたしたち2名の8名でした。部長挨拶をしたのち、大変うれしいことに、新入会者があり、入会式に立ち会うことができました。入会者は3月でYMCAを退職された板崎淑子さん、横浜YMCAの職員ですが、この2年ほどは大阪YMCAに出向して保育の指導をした方です。退職を機にワイズを通してYMCAに奉仕をしたいとのことでした。少ない人数ですが、ロースターの配布とともに、YMCA用語の詳しい説明を池田会長が丁寧に行い、また、十勝ジャガイモの販売を今から準備していました。コロナのため、例会は3月以来とのことで、ハッピーバースデーは3月以降の方々にお祝いを配布していました。YMCA報告でもチャリティーラン、ポジティブネット募金をしっかり説明し、協力について検討していました。少人数ですが、良くまとまっている印象でした。

9月11日(金)18:00~20:20、鶴見中央地域ケアプラザで行われた横浜つるみクラブ例会に公式訪問しました。同行者には伊藤書記のほか、辻エクステンション委員長が加わってくださいました。出席者は鶴見クラブ9名(メネット1名含む)のほか、ゲストは卓話者の大江浩さん、YMCA職員の鈴木亜紀さん、田辺朋美さん、元職員渡辺誠二さん、中村純子ワイズの夫である中村壽晴さん、ビジターは公式訪問3名のほか、日下部美幸ワイズ(厚木クラブ)と18名でした。例会は渡邊光枝ワイズの司会で進行。久保会長による開会点鐘・挨拶に続いて、吉本正子ワイズがピアノを弾き、みんなでワイズソングを歌いました。ワイズソングは久しぶりに歌いました。ワイズの信条を唱和ののち、部長公式訪問の挨拶をいたしました。

続いて、大江浩さんによる「希望の扉~なぜならわたしは弱いときにこそ強いからです」と題して卓話。前月の横浜クラブの卓話が素晴らしかったので、大江さんに強いてお願いして実現したのでした。内容は、おおむね前月号横浜クラブ報告に沿うものでした。その後、エクステンション委員会報告を基に会員増強への喚起、YMCAからつるみ保育園バザーへの協力依頼や9月1日Y-Y's協議会報告など盛りだくさん

でした。新しいクラブとして発展への意欲溢れる例会でした。

以上で湘南地区の7クラブの公式訪問を終える事ができました。それぞれのクラブが特徴を持ちながら活動している様子を伺い、勉強になりました。最後に、伊藤誠彦ワイズには部書記としてすべてのクラブにご同行いただき、心から感謝します。

## 第88回Y-Y's協議会報告

伊藤 誠彦

9月1日(火)19:00より第88回Y-Y's協議会が中央Yで開催された。3月と6月に予定されていた同協議会はコロナ禍で中止になったため久しぶりの開催になった。今回の担当は金沢八景クラブ。Zoom併用会議ではあるが、会場出席者にもそれぞれにPCが割り当てられまるでZoom会議の趣。

宮崎ワイズの司会による開会礼拝の後、黒川会長の司会で協議に入った。最初に佐竹横浜Y総主事の挨拶。佐竹さんはZoom参加であったため、音声がよく聞き取れず、奥園さんがメッセージを読み上げました。

総主事メッセージは簡潔でY-Y's協議会は88回目で開催以来20年以上が経過した(初回は1998年6月)、今回の中心テーマはチャリティーラン、それも障がい児支援のための資金集め、とズバリ明確に指摘された。

つづいて古田部長挨拶の後、チャリティーラン事務局の井藤直人さんと青木一宏さんから今年度のチャリティーランの「オンライン開催」方法について説明があった。

ワイズに対する要望事項も出された。出走チームのスポンサーになること。クラブ毎の応援動画を作成すること(当件に関しては9月24日の第二例会で10月第一例会前に作成することを決定)、その他、ブリテンなどを通じた情報発信、大会Tシャツの購入協力等々。

その後、YMCA、ワイズ双方からの報告事項、各クラブ報告があり閉会となった。

横浜クラブ出席者：伊藤、大高(Zoom)、古田

## 第二例会報告

古田 和彦

日時：9月24日(木)17:00~18:45

場所：Zoomによる開催

出席者：伊藤、大高、古賀、古田

協議・確認・検討事項

### 1. 行事予定

・資料により予定が示された。11/14~11/30 第23回インターナショナル・チャリティーランを追加する。

### 2. 協議・報告事項

#### 1) 第23回湘南・沖縄部 部大会

・10/3(土)15:00-17:00 於：湘南とつかYMCA

基調講演：「環境問題を考える」鈴木弥也子氏

・当クラブからの参加者は7名。古田ワイズ(部長)から運営への協力依頼があった。

#### 2) 横浜クラブ90周年記念行事について

① 記念式典：2020年12月12日(土) 於：横浜中央YMC Aチャペル+Zoom

② 式典プログラム

[第一部] 礼拝 14:00-14:30

司会・奨励：押川幸男ワイズ (牧師)

奏楽：古賀智子メネット

式次第を検討した。讃美歌は1番だけ歌う、献金は行わない。

[第二部] 記念例会 14:30-15:30

司会：伊藤ワイズ

ワイズの信条の唱和 (ワイズソングは割愛)

会長挨拶・報告：活動報告を入れおよそ7~8分程度。

来賓挨拶：東日本区理事、湘南沖縄部長、大阪長野会長 (DBC)、日本YMCA 同盟総主事、横浜YMCA 総主事を予定、各3分程度。

熊本スピリットクラブとのDBC締結式：締結式のやり方を東日本区国際・交流事業主任の米長ワイズに確認して進めることとした。また、熊本スピリットクラブには齋藤ワイズを通して正式に連絡する。

閉会の辞、閉会点鐘

「写真撮影」

- ③ 懇親会は行わない (コロナの影響を考慮する)
- ④ 会場参加者は40人程度に抑える。凡その参加見通し
  - ㊦横浜クラブ15名、㊧東日本区5名、㊨部内各クラブ15名、㊩DBC・OB・YMCA等5-8名。
- ⑤ ハイブリッド例会 (Zoom参加併用) としてその他の方々へ広く参加を求める。
- ⑥ 90年史の発行を原案通り進める。原稿執筆依頼者へは原則メールにより依頼する。

3) 10月例会について

卓話「今日の横浜YMCAの姿を創り上げるためにお導きくださったYsの方々をしのびつつ」吉村恭二さん (元横浜YMCA 総主事)。

- 4) 沖縄那覇クラブの早期復帰に取り組む
  - 5) 11月ブリテン計画を提案通り承認
  - 6) チャリティーラン支援について
    - ・昨年と同様、1チーム分スポンサーする (5万円)。
    - ・10/8例会前17:30から応援メッセージの動画撮影実施。
  - 7) その他
    - ・卓話謝礼の原則を確認した。ワイズ・YMCA関係者は5千円、一般1万円。
    - ・メーキャップの確認 (他クラブ参加の場合は出席扱い)。
- なお、開会時、入院加療中の金子ワイズの病状について古賀会長から報告があった。



担当主事 奥蘭 一紀

世界YMCA・YWCAでは、11月の第2週目の日曜日からの1週間(8日-13日)を合同祈禱週として、毎年一つのテーマをもとに、聖書からのメッセージを聴き、祈りを共にするときとして定めています。今年は”Rays of hope: creating a resilient community through practical spirituality”のテーマのもと、祈りを合わせます。

11/8(日) Inclusive and transformative humanitarian response

コリントの信徒への手紙一 13章8-13節

11/9(月) Spiritual and economic empowerment to seize the day

コリントの信徒への手紙一 15章1-11節

11/10(火) Addressing social injustices in our communities: a call to action

コリントの信徒への手紙一 15章12節-22節

11/11(水) Keep Hope Alive: finding peace and sharing kindness

コリントの信徒への手紙一 15章23節-28節

11/12(木) Weaving nets of support

コリントの信徒への手紙一 15節58節

11/13(金) 崇拜の日

コリントの信徒への手紙一 16節13節-14節

コロナ禍にあつて、社会的に弱くされている人々の生活に大きな影響を受けてしまう事態となっています。一方で自分自身を見つめ直すこと、心と体の健康を維持することなどの大切さを学ぶこととなりました。パンデミックの時に、私たちができることは何かを考える機会となると思います。

有料となりますが、毎年合同祈禱週のブックレットが販売されます。ご希望の方は、お声かけください。

10月例会プログラム

日時：10月8日(木) 18:30~20:15

場所：横浜中央YMCA 606教室

司会：大高 治

1. 開会点鐘及び挨拶 ..... 古賀会長
2. ワイズの信条 ..... 全員
3. 今月の聖句 ..... 古賀ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 ..... 古賀会長
5. 卓話 『今日の横浜YMCAの姿を創り上げるために、お導きくださったYsの方々をしのびつつ』  
吉村 恭二氏 (元横浜YMCA 総主事)
6. ビジネス・報告 ..... 古賀会長
7. Happy Birthday 遠藤 喜七
8. 閉会点鐘 ..... 古賀会長

例会報告：古賀 健一郎

11月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y+Zoom
14-30			第23回チャリティーラン	オンライン
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
28	土	15:00	第二回部評議会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA奥蘭一紀にご連絡下さい。

メール [okuzono\\_kazuyoshi@yokohamaymca.org](mailto:okuzono_kazuyoshi@yokohamaymca.org)

電話 045-661-0080